



年金総合研究所 ニュースレター

No.	Issopm - Press - A0024
発行日	2017年4月6日
編集	年金総合研究所 広報

大阪第3回 年金総合研究所シンポジウムを開催

3月27日(月)に、大阪では3回目となるシンポジウムを薬業年金会館で開催いたしました。昨年12月に東京で開催しました『国際比較から見る年金制度の課題』をアレンジした内容で、『年金(公的年金・企業年金)改正と今後の課題』と題し、4名の講師をお招きし講演をしていただきました。140名という多くの方々に参加いただき、公的年金、企業年金への関心の高さが実感できるシンポジウムでした。

講演 1

『年金制度改正の概要等』

厚生労働省 年金局 企画官 江口 満 氏

平成28年、秋の臨時国会で審議された『年金制度改革法案』のうち項番1,2,3について、行政の立場からその内容について講演していただいた。



1. 短時間労働者への被用者保険の適用拡大の促進
2. 国民年金第1号被保険者の産前産後期間の保険料免除
3. 年金額の改定ルールの見直し
4. 年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の組織等の見直し
5. 日本年金機構の国庫納付規程の整備

講演 2

『国際比較から見る日本の年金制度等の課題』

年金総合研究所 国際比較研究会 主席研究員 佐野邦明 氏

国際比較評価の先行事例であるオーストラリア・メルボルンのマーサー社が発表している「世界年金インデックス」における日本の位置付けの低さが紹介され、国際比較研究会で新たに設けた評価基準での日本の位置付けが示された。

各国の社会背景、国民性が異なるため、点数によるランク付けには意味がないが、各国の年金制度の特徴、課題を把握することは有用で、日本の年金制度の改善につなげることができるのではないかと結論付けた。



(次頁へ)

講演
3

『 税制面から見た年金制度と国際比較 』

東京大学名誉教授 宮島 洋 氏

“年金制度の国際比較研究会”の主要研究員として年金制度の国際比較への補足の後、税制と年金について下記5つの論点でお話をいただいた。

1. 年金の実質購買力の国際比較
2. 年金税制の基本的な考え方
3. 貯蓄税制への企業年金税制の位置付け
4. 退職金から退職年金へ
5. 公費財源としての消費税



講演
4

『 年金制度の残された課題』
(スウェーデン他の諸外国との対比も踏まえて)

元・駐スウェーデン日本国特命全権大使 渡邊芳樹 氏



日本とスウェーデンを中心とした諸外国との公的年金給付の所得代替率の比較、平成16年度の改革について、および日本の年金制度の直近の課題や将来的または本質的な課題についてご講演をいただいた。

討論会

各講師より、ご講演の中で説明しきれなかった点について補足説明、およびまとめが行われた。

- ✓ 私的年金の拡大・充実に向けた一つのツールとして、“iDeCo”(個人型確定拠出年金)の紹介、そのメリットについて
- ✓ 国際比較評価結果からみる日本の年金制度の課題
- ✓ 公的年金、企業年金、私的年金、退職金の枠組みを超えた施策の必要性
- ✓ 私的年金を充実させるための税制を含めた制度改革の必要性
- ✓ 海外での日本の年金税制の評価は悪くない
- ✓ 海外の年金制度の積極的研究、そして日本の国民性、風土を鑑みたカスタマイズにより企業年金、私的年金を充実させるための努力が必要

(次頁へ)



お知らせ 1

次回シンポジウム日程が決定しました

6月29日(木)霞が関ビル35階の東海大学校友会館にて、第13回目のシンポジウムを開催いたします。シンポジウムのテーマ、登壇者は現在調整中です。

お知らせ 2

シンポジウム講演録を発行予定です

当シンポジウムの全講演内容および全講演資料を講演録として取りまとめて、ご希望される方に販売致します。発送の準備が整い次第、年金総合研究所ホームページにて、お知らせいたします。

講演録のお申込みは、当研究所ホームページの「お問い合わせ」のページより必要事項をご記入の上、お申込みください。

年金総合研究所ホームページ：
<http://www.issopm.or.jp/>



当ニュースレターで今後取上げて欲しいテーマやご要望・ご意見などございましたら、年金総合研究所ホームページのお問い合わせフォームからお知らせください。

お問い合わせ先：<http://www.issopm.or.jp/contact/>